

北河内二次医療圏における 救急医療体制について

北河内救急懇話会 資料
平成31年2月8日（金）

第7次大阪府医療計画 北河内圏域における 現状と課題及び取り組み

- ・救急搬送数のうち軽症者の占める割合は7割弱で推移。
- ・高年齢者（65歳以上）の占める割合は年々増加し4割に達している。
- ・このことが二次・三次救急医療機関の負担増に繋がる要因として考えられる。

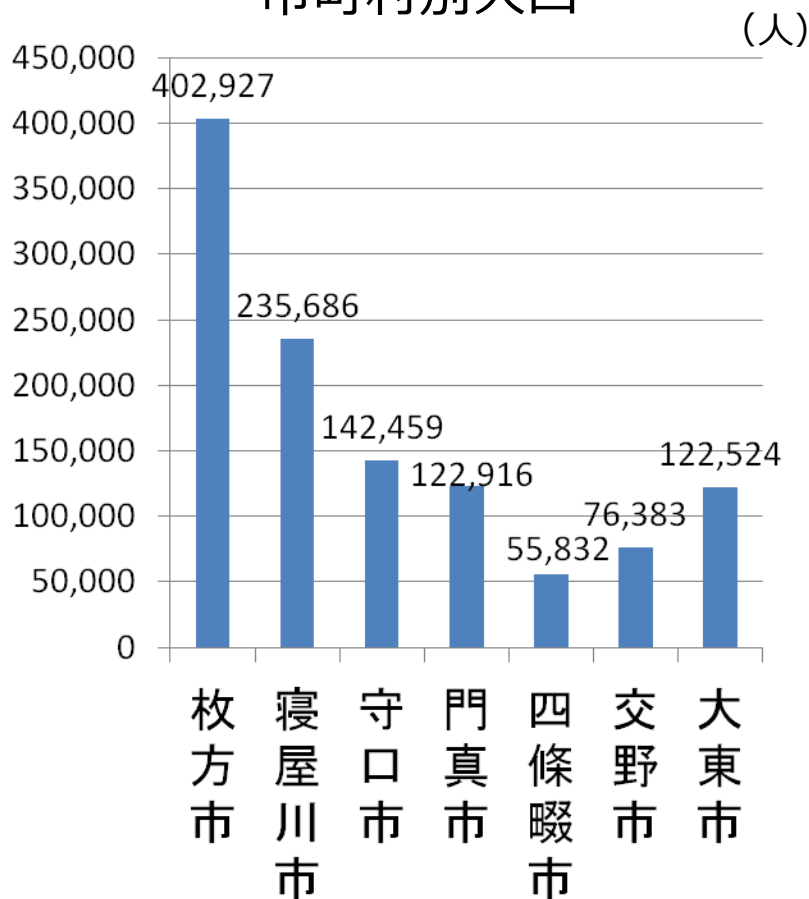


- ・圏域内の市、医師会ほか関係機関と連携し、救急車の適正利用に係る住民啓発の他、初期・二次・三次救急医療機関間の相互連携の強化並びに役割分担の明確化のための方策を検討します。
- ・初期救急医療機関のうち、深夜帯対応を行っている医療機関は小児科において1か所のみのため、関係機関等と連携し、診療日等拡充のための方策を検討します。

市町村別人口および高齢者人口（65歳以上）の割合 （平成28年）

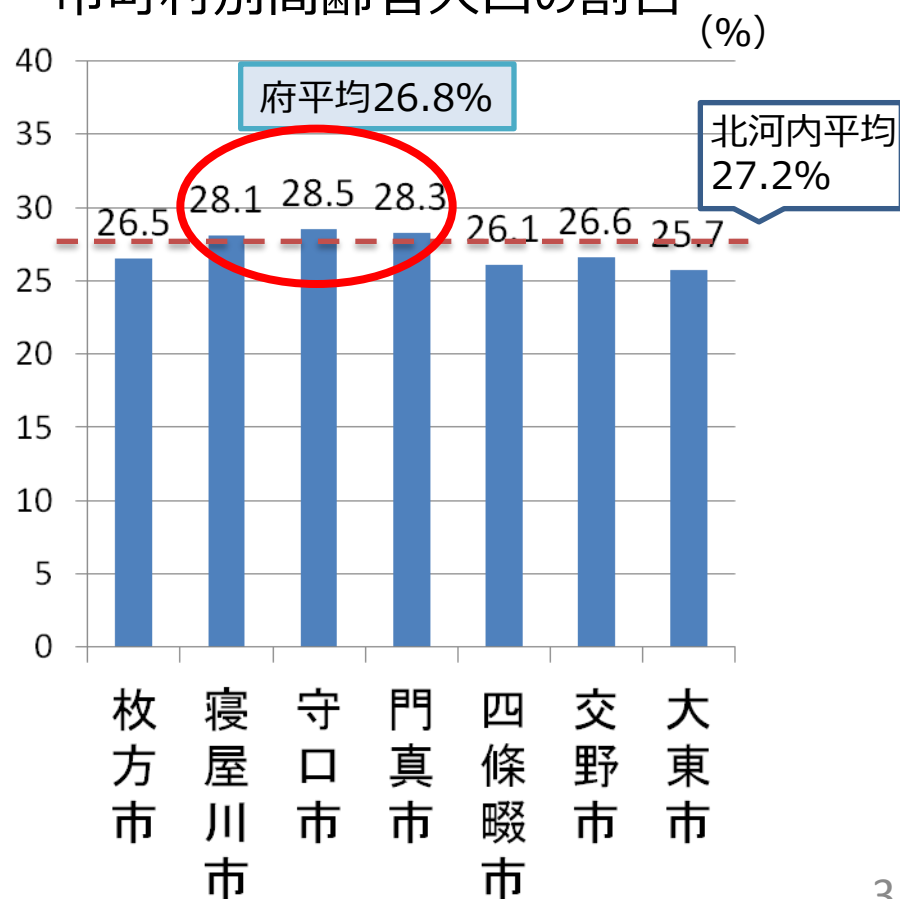
高齢者人口の割合は守口市、門真市、寝屋川市で高い傾向。

市町村別人口



平成28年度大阪府統計年鑑

市町村別高齢者人口の割合



大阪府毎月統計集計人口、年齢別推計人口（平成28年11月1日）

後期高齢者（75歳以上）人口の将来推計

(人)

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
枚方市	46,613	62,298	77,766	81,681	78,409	76,938
寝屋川市	27,730	36,152	43,869	45,020	41,558	39,959
守口市	19,343	23,936	27,038	26,037	23,842	23,593
門真市	14,859	18,609	20,763	19,410	16,720	15,706
四條畷市	5,887	7,762	9,205	8,970	8,027	7,843
交野市	8,524	11,437	13,734	13,883	13,074	13,025
大東市	13,433	17,118	20,322	20,146	18,305	17,823
大阪府	1,049,859	1,285,408	1,507,245	1,523,311	1,445,022	1,433,265

・2015年を100とした指数

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
枚方市	100.0	133.6	166.8	175.2	168.2	165.1
寝屋川市	100.0	130.4	158.2	162.4	149.9	144.1
守口市	100.0	123.7	139.8	134.6	123.3	122.0
門真市	100.0	125.2	139.7	130.6	112.5	105.7
四條畷市	100.0	131.8	156.4	152.4	136.4	133.2
交野市	100.0	134.2	161.1	162.9	153.4	152.8
大東市	100.0	127.4	151.3	150.0	136.3	132.7
大阪府	100.0	122.4	143.6	145.1	137.6	136.5

出典：日本の地域別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月推計）

大阪府の人口及び救急搬送数の推移

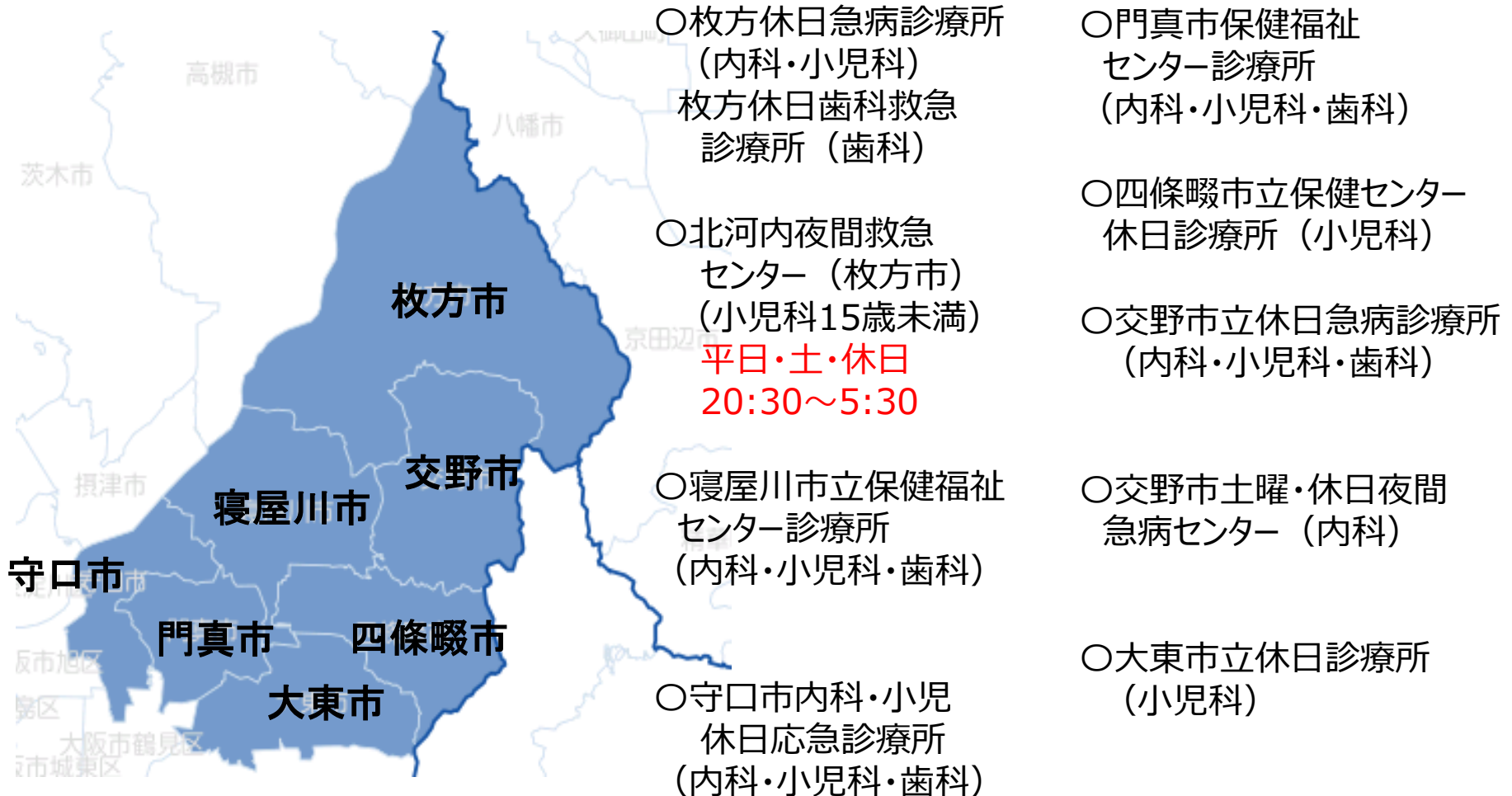
	2017年	2025年
大阪府人口(A)	約883万2千人	852万6千人※
Aのうち65歳以上	約234万8千人 (26.6%)	約242万8千人※ (28.5%)
Aのうち75歳以上	約113万9千人 (12.9%)	約150万7千人 (17.7%)
救急搬送数(B)	46万818人	48万9773人
Bのうち65歳以上	26万人 (56.4%)	30万1千人 (61.5%)
Bのうち75歳以上	18万3440人 (39.8%)	24万2755人 (49.6%)

※ : 日本の地域別将来推計人口 (国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月推計)

※以外 : 大阪府における高齢者救急医療体制のあり方について

(2018年12月 大阪府救急医療対策審議会 高齢者部会 提言)

北河内圏域 初期救急医療体制



平成29年度 北河内夜間救急センター受診状況①

(1) 総患者数 7,545人

(2) 住所地別受診者数割合

枚方市	寝屋川市	交野市	四條畷市	大東市	守口市	門真市
57.43%	19.31%	10.11%	2.96%	2.73%	2.13%	1.94%

(3) 年齢別受診者数割合（上位5区分）

1～2歳未満	2～3歳未満	3～4歳未満	1歳未満	4～5歳未満
17.20%	10.83%	10.11%	9.80%	9.60%

(4) 来所時間別受診者割合（上位5区分）

20:30～21:00	21:00～21:30	21:30～22:00	22:00～22:30	22:30～23:00
23.5%	13.6%	10.3%	8.0%	7.2%

平成29年度 北河内夜間救急センター受診状況②

(5) 後送患者数 265人 後送比率 3.51%

(6) 後送後、入院に至った患者 79.62%

(7) 後送病院（上位5か所）

市立 ひらかた病院	関西医科大学 枚方病院	高槻病院	中野こども病院	小松病院・ 大阪市立総合 医療センター
89.43%	5.66%	2.26%	1.89%	0.38%

(8) 来院方法

自家用車	タクシー	歩行	自転車	その他
91.08%	6.07%	1.25%	1.19%	0.41%

平成29年度 北河内夜間救急センター受診状況③

(9) 診察結果（疾病区分別割合）

呼吸器系	消化器系	循環器系	その他
54.91%	23.01%	0.13%	21.95%

(10) 診察にあたった医師の判断

救急患者	35.15%
前日に他の医療機関で受診すべきだった患者	1.97%
翌日でもよかった	62.88%

北河内圏域 二次救急医療体制



○枚方市 17病院

星ヶ丘医療センター
枚方公済病院
東香里病院
市立ひらかた病院
香里ヶ丘有恵会病院
有澤総合病院
協立病院
吉田病院
福田総合病院
中村病院
高井病院
関西記念病院
向山病院
佐藤病院
関西医科大学附属病院
新世病院
関西医科大学くずは病院

○守口市 6病院

京阪病院
関西医科大学総合医療センター
鶴見緑地病院
松下記念病院
守口敬仁会病院
守口生野記念病院

○門真市 3病院

萱島生野病院
蒼生病院
摂南総合病院

○四條畷市 2病院

北河内藤井病院
畷生会脳神経外科病院

○交野市 1病院

交野病院

○寝屋川市 8病院

大阪府結核予防会大阪病院
寝屋川生野病院
藤本病院
小松病院
ねや川サナトリウム
上山病院
星光病院
寝屋川ひかり病院

○大東市 4病院

野崎徳洲会病院
大東中央病院
仁泉会病院
阪奈病院

北河内圏域 三次救急医療体制

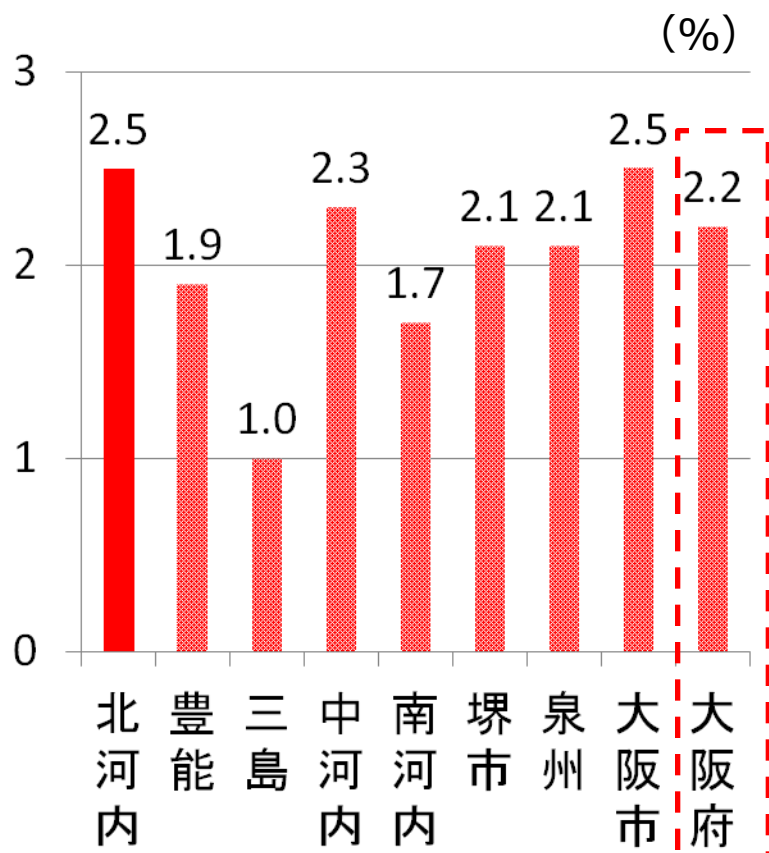


○関西医科大学附属病院
(高度救命救急センター)

○関西医科大学総合医療センター

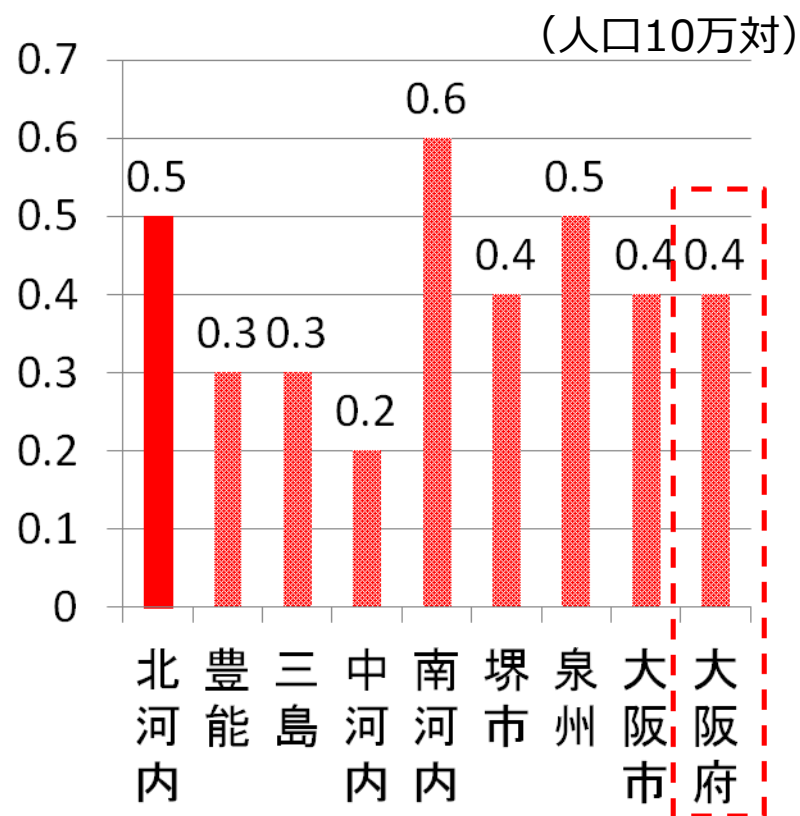
救急医療の提供体制

在宅当番制有りの施設数/診療所数



平成26年医療施設調査

初期救急医療体制有施設数



平成26年医療施設調査

ORION集計分析データからみた 北河内圏域の現状

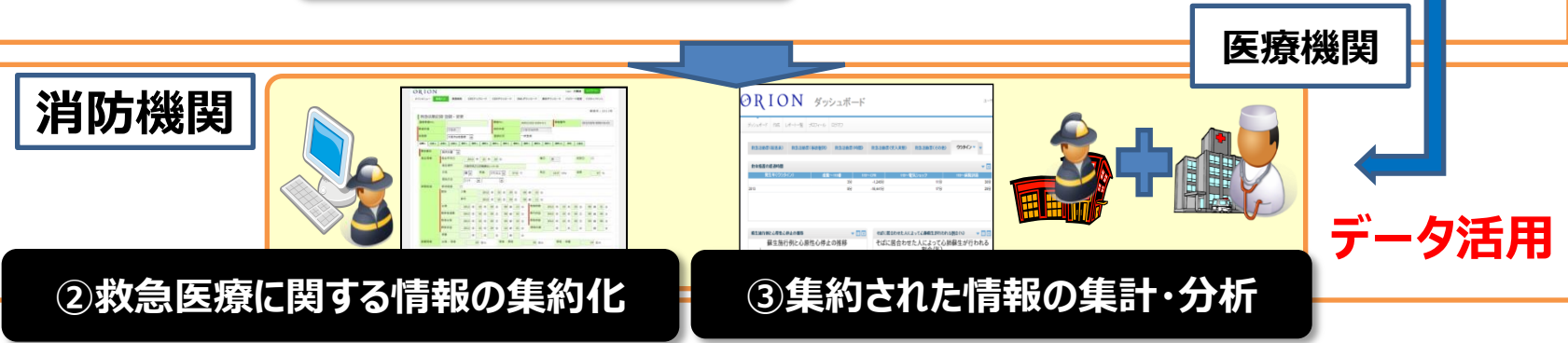
ORION (大阪府救急搬送支援・情報収集・集計分析システム) 全体イメージ



搬送・受入れ



収集・分析



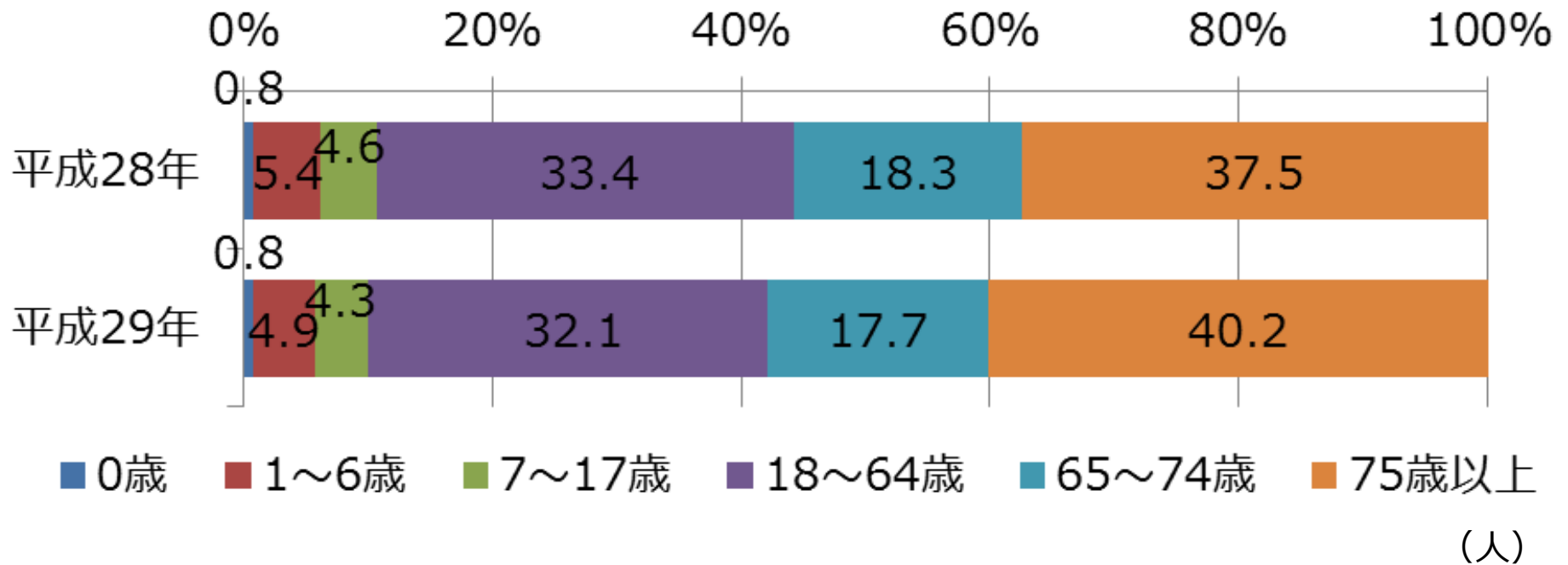
ORIONデータ

- 情報収集システムで一元化された情報を集計分析システムで集計したもの。
- 消防への入電から搬送までの病院前情報は消防機関が入力。搬送後の情報は二次及び三次救急告示医療機関が入力。
病院前情報と病院後情報で整合性が取れていないものもあり、分析結果は傾向を見るものとして活用。
- 今回のデータは北河内圏域の4消防機関が搬送したものを活用している。
- リンク率（病院前情報と病院後情報が紐付いている割合）

平成28年	96%
平成29年	97%

年齢区分別・搬送件数、割合 (平成28年、29年)

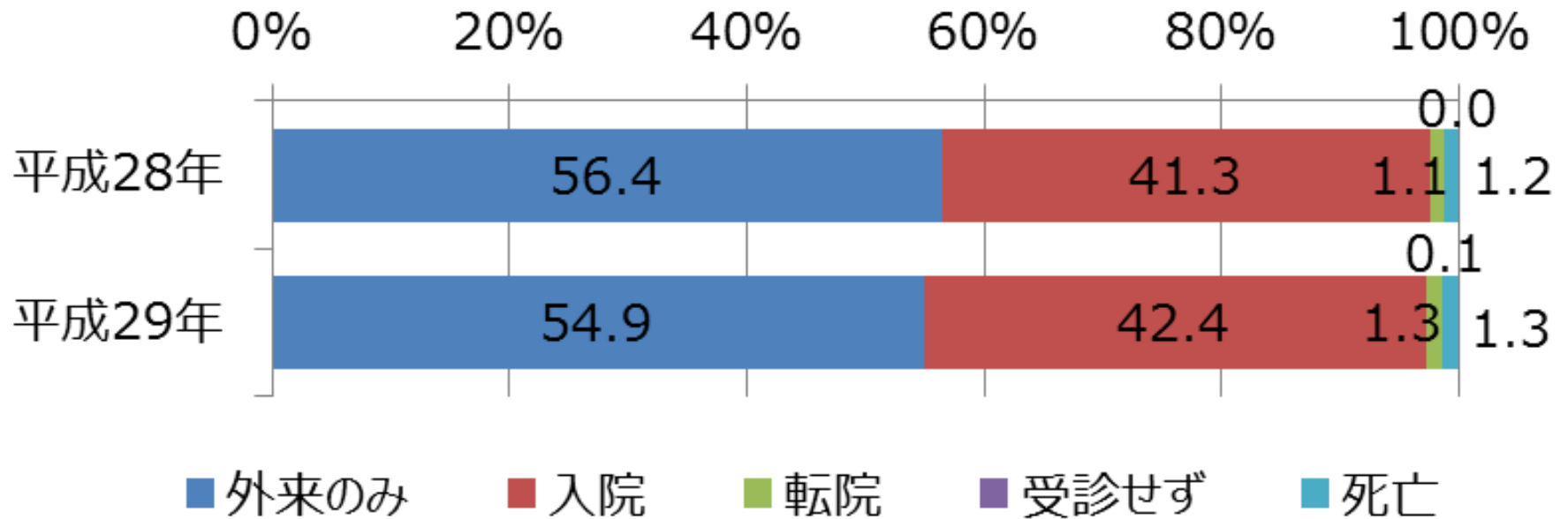
搬送件数の約4割が75歳以上の高齢者。



	0歳	1~6歳	7~17歳	18~64歳	65~74歳	75歳以上	合計
平成28年	412	2,682	2,287	16,727	9,147	18,752	50,007
平成29年	434	2,687	2,330	17,569	9,694	21,951	54,665

転帰別・搬送件数、割合 (平成28年、29年)

「外来のみ」の割合が約5割

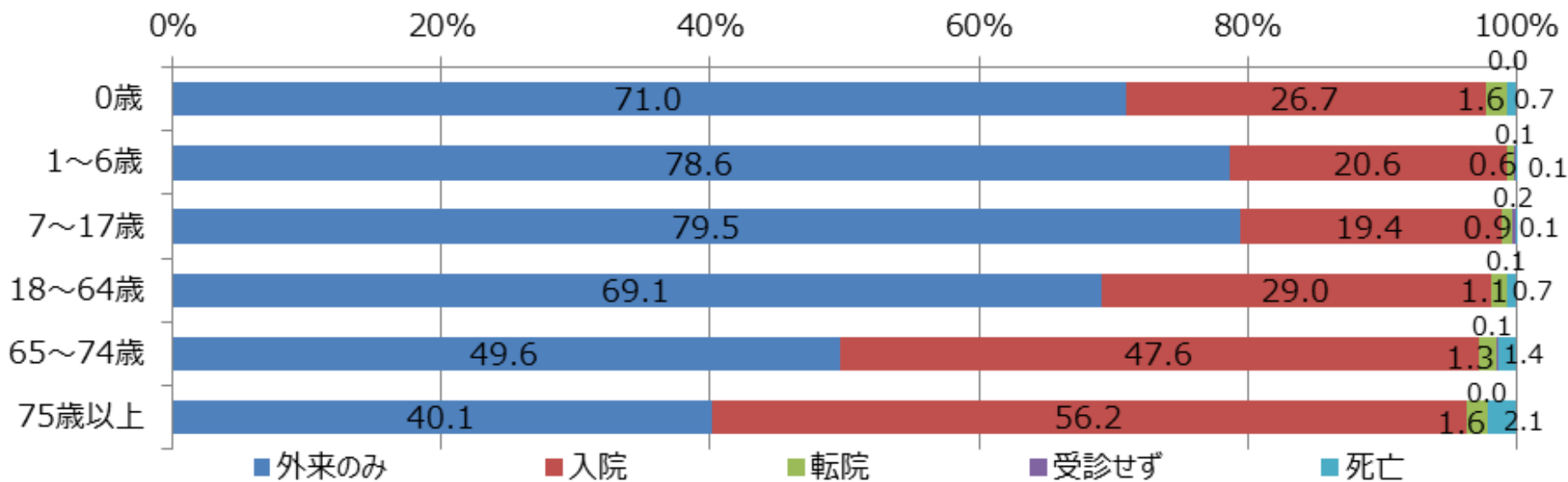


(人)

	外来のみ	入院	転院	受診せず	死亡	合計
平成28年	27,779	20,326	557	8	597	49,267
平成29年	30,042	23,167	704	32	731	54,676

年齢区分別・転帰別・搬送件数、割合（平成29年）

「入院」「死亡」は若年者より高齢者が多い。



(人)

年齢区分	外来のみ	入院	転院	受診せず	死亡	合計
0歳	308	116	7	0	3	434
1~6歳	2,113	554	16	2	2	2,687
7~17歳	1,852	451	21	4	2	2,330
18~64歳	12,145	5,097	194	11	122	17,569
65~74歳	4,810	4,617	125	6	136	9,694
75歳以上	8,810	12,327	341	8	465	21,951
総数	30,038	23,162	704	31	730	54,665

年齢区分別・転帰別・搬送件数のうち、現場滞在時間30分以上の件数、割合 (平成29年)

現場滞在時間が長いのは18歳～64歳に多く、受診しなかったケースもあった。

年齢区分	転帰	全件数 (人)	現場滞在30 分以上 (人)	現場滞在30 分以上の割 合	年齢区分	転帰	全件数 (人)	現場滞在30 分以上 (人)	現場滞在30 分以上の割 合
0歳	外来のみ	308	10	3.2%	18～64歳	外来のみ	12,145	1,247	10.3%
	入院	116	0	0%		入院	5,097	520	10.2%
	転院	7	0	0%		転院	194	30	15.5%
	受診せず	0	0	0%		受診せず	11	3	27.3%
	死亡	3	0	0%		死亡	122	4	3.3%
	合計	434	10	2.3%		合計	17,569	1,804	10.3%
1～6歳	外来のみ	2,113	71	3.5%	65～74歳	外来のみ	4,810	420	8.7%
	入院	554	6	1.1%		入院	4,617	373	8.1%
	転院	16	0	0%		転院	125	9	7.2%
	受診せず	2	0	0%		受診せず	6	2	33.3%
	死亡	2	0	0%		死亡	136	2	1.5%
	合計	2,687	77	2.9%		合計	9,694	806	8.3%
7～17歳	外来のみ	1,852	120	6.5%	75歳以上	外来のみ	8,810	846	9.6%
	入院	451	32	7.1%		入院	12,327	1,066	8.6%
	転院	21	2	9.5%		転院	341	34	10.0%
	受診せず	4	0	0%		受診せず	8	1	12.5%
	死亡	2	0	0%		死亡	465	11	2.4%
	合計	2,330	154	6.6%		合計	21,951	1,958	8.9%

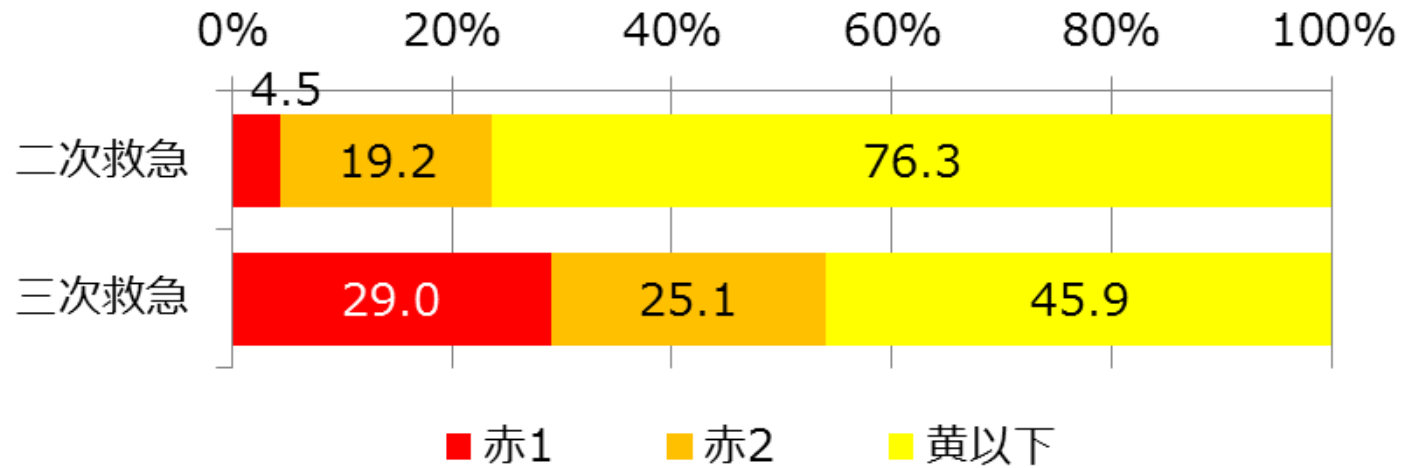
年齢区分別・転帰別・搬送件数のうち、連絡回数4回以上の件数、割合 (平成29年)

連絡回数が多いのは、18歳～64歳の入院、転院、死亡。

年齢区分	転帰	1～3回 (人)	4回以上 (人)	4回以上の 割合	年齢区分	転帰	1～3回 (人)	4回以上 (人)	4回以上の 割合
0歳	外来のみ	305	3	1.0%	18～64歳	外来のみ	11,800	343	2.8%
	入院	115	1	0.9%		入院	4,955	142	2.8%
	転院	6	1	14.3%		転院	181	13	6.7%
	受診せず	0	0	-		受診せず	11	0	0.0%
	死亡	3	0	0.0%		死亡	117	5	4.1%
	合計	429	5	1.2%		合計	17,064	503	2.9%
1～6歳	外来のみ	2,060	52	2.5%	65～74歳	外来のみ	4,716	92	1.9%
	入院	545	9	1.6%		入院	4,535	82	1.8%
	転院	16	0	0.0%		転院	122	3	2.4%
	受診せず	1	1	50.0%		受診せず	6	0	0.0%
	死亡	2	0	0.0%		死亡	132	4	2.9%
	合計	2,624	62	2.3%		合計	9,511	181	1.9%
7～17歳	外来のみ	1,807	45	2.4%	75歳以上	外来のみ	8,686	123	1.4%
	入院	437	14	3.1%		入院	12,130	194	1.6%
	転院	21	0	0.0%		転院	335	6	1.8%
	受診せず	4	0	0.0%		受診せず	7	1	12.5%
	死亡	2	0	0.0%		死亡	452	13	2.8%
	合計	2,271	59	2.5%		合計	21,610	337	1.5%

応需率 82.5%

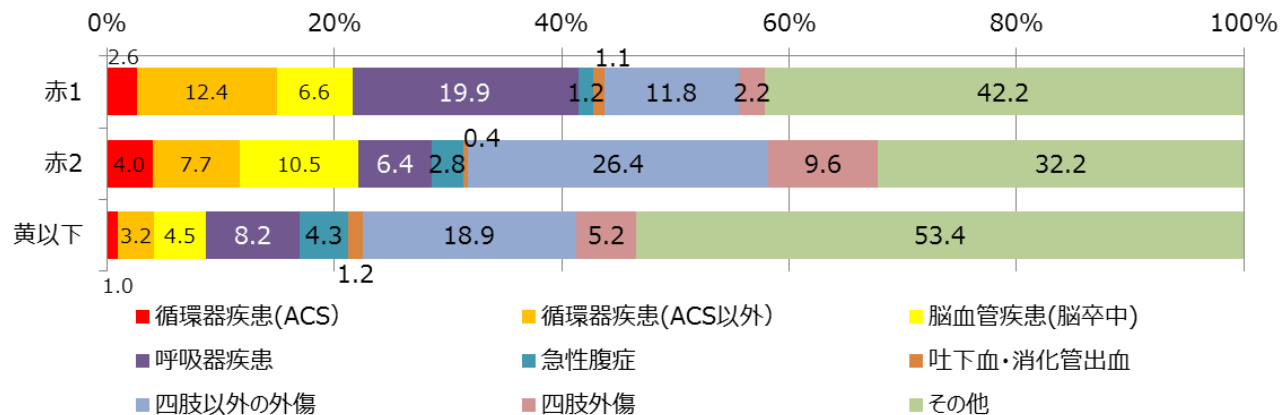
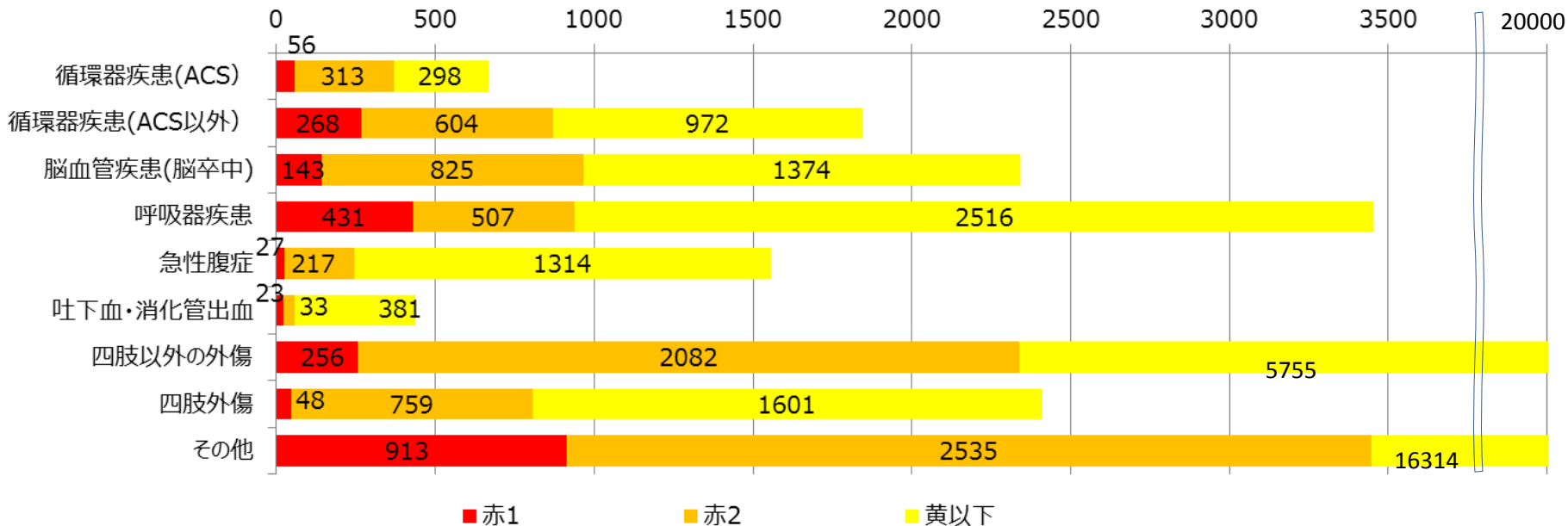
搬送先医療機関種別・緊急度別・搬送件数、割合 (平成30年1月～10月)



(人)

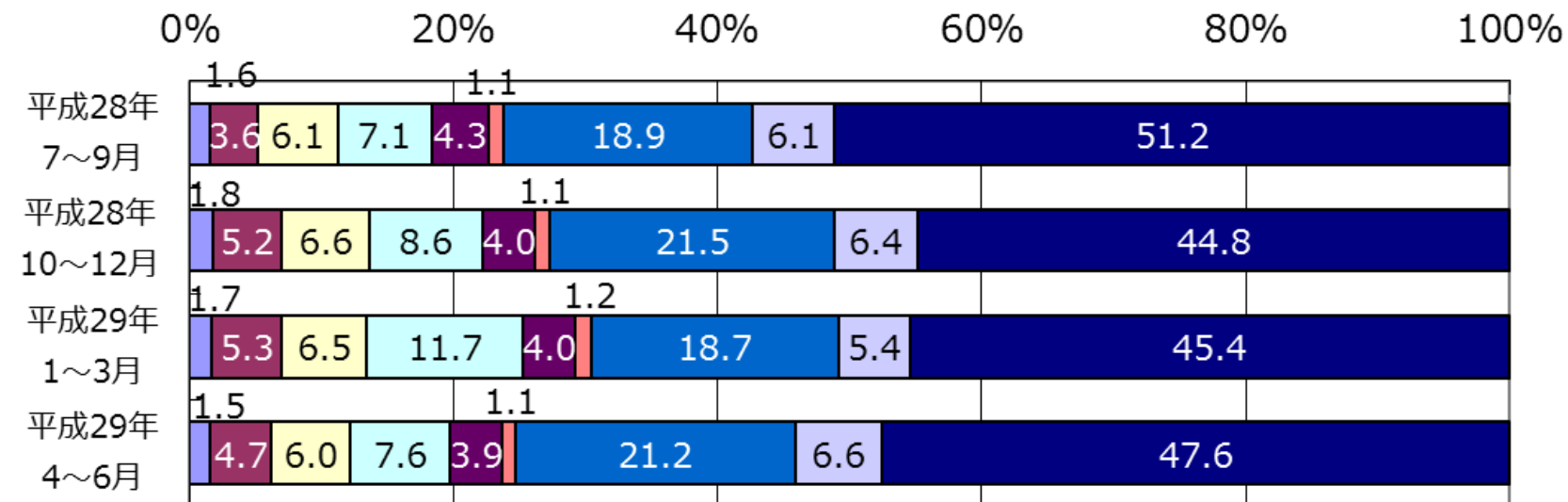
	赤1	赤2	黄以下	合計
二次救急	1,749	7,510	29,838	39,097
三次救急	416	360	659	1,435
総計	2,165	7,870	30,497	40,532

疾患別・緊急度別・搬送件数（平成30年1月～10月）



四半期別・疾患別・搬送件数、割合（平成28年7月～平成29年6月）

循環器疾患、呼吸器疾患は冬場に多い傾向で、それ以外の疾患は大きな変動はない。



- 循環器疾患 (ACS)
- 循環器疾患 (ACS以外)
- 脳血管疾患 (脳卒中)
- 呼吸器疾患
- 急性腹症
- 吐下血・消化管出血
- 四肢以外の外傷
- 四肢外傷
- その他

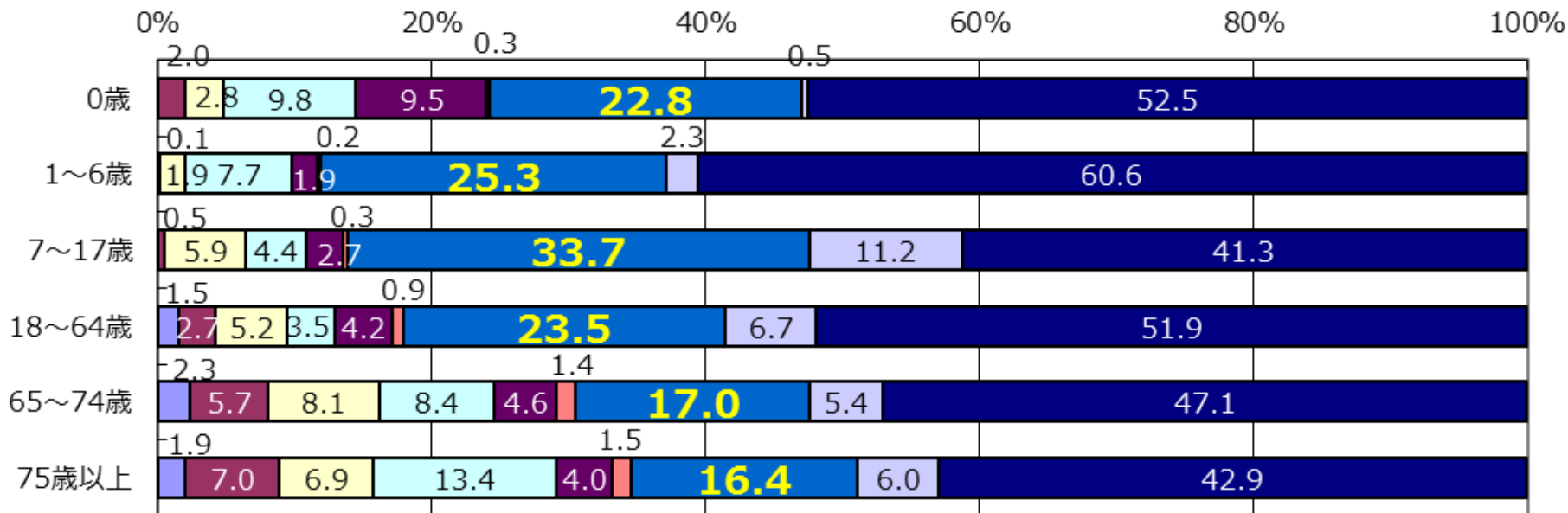
(人)

	循環器疾患 (ACS)	循環器疾患 (ACS以外)	脳血管疾患 (脳卒中)	呼吸器疾患	急性腹症	吐下血・消化管出血	四肢以外の外傷	四肢外傷	その他	合計
H28年 7月～9月	221	494	833	972	590	157	2,599	843	7,037	13,746
H28年 10月～12月	250	731	929	1,198	555	160	3,010	889	6,270	13,992
H29年 1月～3月	185	590	714	1,300	447	135	2,070	598	5,025	11,064
H29年 4月～6月	189	579	741	939	478	134	2,620	812	5,886	12,378

年齢区分別・疾患別搬送数、割合（平成28年7月～平成29年6月）

どの年齢区分も四肢以外の外傷が多い。

7～17歳の四肢外傷、65歳以上の呼吸器疾患も多い。



- 循環器疾患 (ACS)
- 循環器疾患 (ACS以外)
- 脳血管疾患 (脳卒中)
- 呼吸器疾患
- 急性腹症
- 吐下血・消化管出血
- 四肢以外の外傷
- 四肢外傷
- その他

(人)

	循環器疾患 (ACS)	循環器疾患 (ACS以外)	脳血管疾患 (脳卒中)	呼吸器疾患	急性腹症	吐下血・消化管出血	四肢以外の外傷	四肢外傷	その他	合計
0歳	0	8	11	39	38	1	91	2	210	400
1～6歳	0	3	47	191	47	5	625	56	1,498	2,472
7～17歳	1	10	125	93	58	6	714	236	873	2,116
18～64歳	253	434	850	566	684	142	3,838	1,091	8,473	16,331
65～74歳	211	526	746	767	417	129	1,560	492	4,308	9,156
75歳以上	411	1,473	1,455	2,827	850	311	3,481	1,273	9,095	21,176

年齢区分別・疾患別・現場滞在時間30分以上の件数、割合 (平成28年7月～平成29年6月)

現場滞在時間が長いのは、「四肢以外の外傷」「四肢外傷」が多い。

年齢区分	疾患名	全件数 (人)	現場滞在30分 以上件数 (人)	現場滞在30分 以上の割合	年齢区分	疾患名	全件数 (人)	現場滞在30分 以上件数 (人)	現場滞在30分 以上の割合
0歳	循環器疾患(ACS)	0	0	0%	18歳～ 64歳	循環器疾患(ACS)	253	3	1.2%
	循環器疾患(ACS以外)	8	0	0%		循環器疾患(ACS以外)	434	25	5.8%
	脳血管疾患 (脳卒中)	11	0	0%		脳血管疾患 (脳卒中)	850	77	9.1%
	呼吸器疾患	39	0	0%		呼吸器疾患	566	36	6.4%
	急性腹症	38	0	0%		急性腹症	684	31	4.5%
	吐下血・消化管出血	1	0	0%		吐下血・消化管出血	142	19	13.4%
	四肢以外の外傷	91	11	12.1%		四肢以外の外傷	3,838	478	12.5%
	四肢外傷	2	0	0%		四肢外傷	1,091	105	9.6%
	その他	210	2	1.0%		その他	8,473	852	10.1%
1歳～ 6歳	循環器疾患(ACS)	0	0	0%	65歳～ 74歳	循環器疾患(ACS)	211	2	0.9%
	循環器疾患(ACS以外)	3	0	0%		循環器疾患(ACS以外)	526	16	3.0%
	脳血管疾患 (脳卒中)	47	2	4.3%		脳血管疾患 (脳卒中)	746	50	6.7%
	呼吸器疾患	191	5	2.6%		呼吸器疾患	767	61	8.0%
	急性腹症	47	2	4.3%		急性腹症	417	19	4.6%
	吐下血・消化管出血	5	0	0%		吐下血・消化管出血	129	16	12.4%
	四肢以外の外傷	625	48	7.7%		四肢以外の外傷	1,560	187	12.0%
	四肢外傷	56	5	8.9%		四肢外傷	492	64	13.0%
	その他	1,498	23	1.5%		その他	4,308	350	8.1%
7歳～ 17歳	循環器疾患(ACS)	1	0	0%	75歳	循環器疾患(ACS)	411	20	4.9%
	循環器疾患(ACS以外)	10	0	0%		循環器疾患(ACS以外)	1,473	64	4.3%
	脳血管疾患 (脳卒中)	125	7	5.6%		脳血管疾患 (脳卒中)	1,455	130	8.9%
	呼吸器疾患	93	5	5.4%		呼吸器疾患	2,827	222	7.9%
	急性腹症	58	2	3.4%		急性腹症	850	58	6.8%
	吐下血・消化管出血	6	1	16.7%		吐下血・消化管出血	311	36	11.6%
	四肢以外の外傷	714	48	6.7%		四肢以外の外傷	3,481	430	12.4%
	四肢外傷	236	18	7.6%		四肢外傷	1,273	123	9.7%
	その他	873	49	5.6%		その他	9,095	315	8.9%

圏域の現状

- ・搬送件数の約4割が75歳以上の高齢者で、搬送数が多いうえに、結果として「入院」に至るケースも半数を超える。
- ・18歳～64歳は、救急隊の現場滞在時間が30分以上かかるケースが約1割、また医療機関への連絡回数が4回以上のケースは約3割で、結果として「死亡」「入院」「転院」に至ることが多い。一方で、結果的に受診しなかったケースもわずかながらあった。
- ・季節変動は、循環器疾患、呼吸器疾患は冬場に多く、それ以外は大きな変動はない。
- ・どの年齢区分も四肢以外の外傷が多い。